

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 3 月定例会

議席番号 6 番
三輪 正議員

1.病児・病後児保育の体制整備について

町の積極的な若者世帯誘致によって若い世帯が増えているが、町内出身世帯と違い祖父母・親戚が近くにいないため、共働き世帯では子供が病気に罹ると保育園では預かってもらえず、両親のどちらかが職場を休まざるをえない状況にある。

①町外から若い世帯が定住しても生活の不安となるため、病児・病後児保育の体制を急ぐべきと思うが、町の考えを伺う。

2.山林資源の有効利用促進について

出雲崎町は県内有数の人工林地帯で町総面積 4,438 ha の約 70%が山林面積である。50 年前に植林された木は、現在では利用のできる資源となり年々増加している状況だが、山林の有効活用を図るため、町は次の 2 点についてどのように考えるか伺う。

①山村部では高齢化や山林の荒廃により境界情報の喪失が進んでおり、間伐の範囲が特定出来ない、道の整備が出来ないなど問題が多い。早急に山村境界基本調査の実施が必要と思うが、町の方針を伺う。

②山林資源の有効利用と雇用の場の創設のために木質バイオマス発電所を誘致すべきと考えるが、町の考えを伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 9 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1. 日本遺産の登録について

「日本遺産」は文化庁が地域の観光振興につなげる狙いで、2015年（平成27年）に認定をスタートした。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、現在54件の認定を100件程度に増やす予定である。新潟県内では「信濃川流域の火焰土器と雪国の文化」と「北前船寄港池・船主集落」の2件が認定されている。

出雲崎は歴史、文化遺産宝庫である。「北前船」「石油産業発祥の地」「北国街道」「芭蕉の奥の細道」「妻入の街並み」などがあり、出雲崎町の歴史、文化のPRと保存、観光振興のため認定を申請すべきと考えるが、町の方針を伺う。

2. 愛郷教育の推進について

生まれ育った郷土に誇りと愛着を持つ教育の実践は町の将来にとって非常に大切なことである。学力の向上と共に郷土に誇りと愛着を持てる教育の充実を要望する。

①現在の小中学校での郷土についての教育の現状を伺う。

②生徒と先生に町内の主な史跡や施設を訪ねてもらい、地元に向けてもらう事は大切であると考えているが町の考えを伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

平成 29 年 12 月定例会

議席番号 7 番
三輪 正議員

1. 資源ゴミ収集の改善について

当町では長岡市と一体でゴミの収集と処分が行われており、各自治体とも資源の有効活用、環境改善、コスト低減のため資源ゴミの分別の徹底と収集品目の拡大を進めている。

下記 3 点について、実施すべきと考えるが、町の方針を伺う。

- 1、「食用廃油」の回収方法の改善
- 2、資源ゴミとしての「古着、古布」の回収の実施
- 3、ゴミ袋の長岡市との共通化

2. 引きこもりの現状と対策について

全国的に引きこもりの増加が問題となっており、最近が高齢化する引きこもりやニートの就労を後押しするため、厚生労働省は今までの 39 歳までの対象を 40～44 歳も含めるように方針を決めた。当町でも中高齢者の引きこもりの事例があるが解消について努力すべきと考える。

- 1、引きこもりの現状、原因について伺う。
- 2、解消のため行政、関係者、地域の取り組みについて町はどのように考えるか伺う。